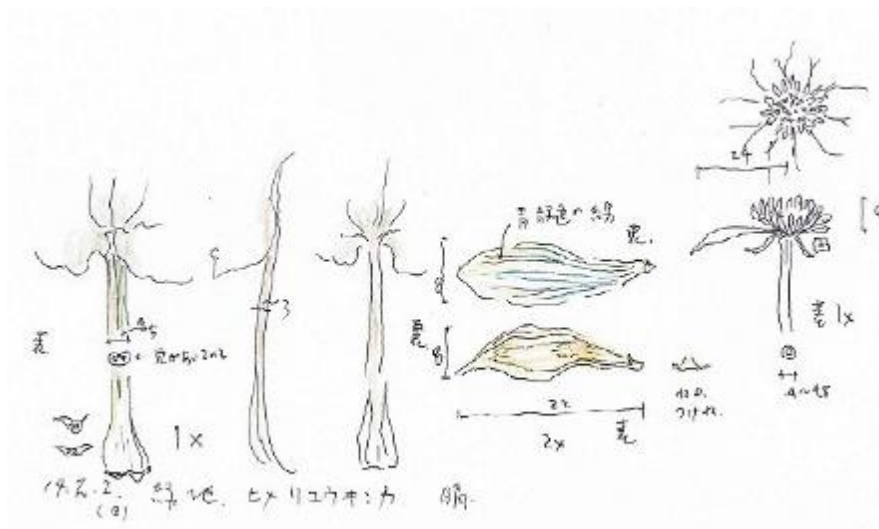


見沼たんぼ・野草スケッチ

ヒメリュウリンカ（姫立金花）

花言葉：会える喜び



2014.2 月始め 見沼代用水・西縁にて

PS: 冬日の射す林縁に黄色い小さな花が咲いているのが目にはいりました。

花びらがキラッと光っているのが印象的な花です。

この季節に咲くフクジュソウがありますが、葉がハート型をしていません。

名前は？と思いネットで調べました。

よく見ると葉の茎の形がメガネ型でその断面は、二つの穴がありました。

ヒメリュウキンカ（姫立金花）

キンボウゲ科キンボウゲ属 多年草

原産地はヨーロッパ及びシベリア・山地の林の中や林の縁に生育

日本へは園芸用として渡来、野生化

丈は5センチから20センチくらい

葉は心形、艶があり、縁には浅いぎざぎざ（鋸歯）

開花時期は2月から4月

花径2、3センチの光沢がある黄色い花、5枚の花びらのように見えるものは萼片

園芸品種には白、クリーム、八重咲きもあり

花の後にできる実はそう果（熟しても裂開せず、種子は1つで全体が種子のように見えるもの）

和名は花や葉の様子が立金花（リュウキンカ）に似ている、属は異なる。

「姫立金花（ヒメリュウキンカ） - 花図鑑 - 龍」のサイトを参考にさせていただきました